

森林環境税フル活用で地域活性化

～儲かる林業の方法ご提案～

空き家対策・災害対策・森林環境贈与税対策

今まで価値が無いと思っていた山が、活用次第で宝の山に変わる。
自分たちの街の良さを再認識する。地域活性が過疎化対策にも繋がる。



手つかずの山林活用

2024年より森林環境税の徴収開始
→林業強化の機運が高まる

地産地消の林業スタート

SDGsを意識した
モノ・コト・ヒトを動かす社会の実現

空き家対策



地元木材でリノベーション
・他にはない魅力的な家
・住みたくなる物件をPR
→移住者の確保



1本の丸太をすべて使い切る！

オーダーメイド木材の販売

工務店

少量多品目で多種多様な製品を供給
・大手が作れないので価格が安定
→大手製材所との住み分け

薪ボイラーの販売も視野に入れた
新しいビジネスモデルの構築

通常時は老人ホーム・デイサービス・
公共温泉施設への熱エネルギーを供給

災害時はこれら施設を避難所として
地域の人たちに開放する

人が集まる山・街づくり



フィールドアスレチック
マウンテンバイクコース

地元山林がアウトドア施設に変身。
宿泊施設、道の駅、カフェなどの
施設充実で街を創生する。



Uターン
Iターン

山を有効活用することで
働く場所の確保が可能に。
→定住化の促進

製材廃材を燃料として活用（廃材も利益にする）



薪ストーブ・薪ボイラー



林福連携



災害時の
熱エネルギー
確保・供給



燃料費ゼロ
ランニングコスト減



身障者の働き場所を確保することも可能。
例) 薪の箱詰め作業など

廃材を使い、薪ボイラー温水を
ビニールハウスや床暖房に活用